

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水 1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I Comprehensive English I		
対象年次 1 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) Kc	科目分類 外国語科目 (英語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 松元 浩一 /研究室:教育学部 619 号室 /オフィシアワー 水曜日12時から12時50分			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: (1) TOEIC, TOEFL 等の読解テスト等にも役立つように英文を文法的に正確に読み解く訓練を行う。 (2) 英文中に出てくる語句や表現を習得し、英語による表現に応用できるようにする。 授業方法: (1) 演習形式。前もって指定された文量を全員が予習してくる。語句や表現の意味を調べ、内容を発表できるようにしておく。授業中にランダムに指名して答えてもらう。 (2) 着実に実力をつけるためにサイクルごとに確認テスト(3回程度)を行う。 (3) 折にふれて、リスニングの訓練も行う(ただし、主たる目的はあくまでも読解力の養成である)。 授業到達目標: TOEIC, TOEFL 等の読解テストで70~80%の正解が得られるような力を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 極北の民エスキモーは、グリーンランド、カナダ、アラスカ、東シベリア等に広く分布する狩猟民族である。元来彼らは文字を持たず、口承によって自分たちの歴史や文化を伝えてきた。本コースで扱う物語は、エスキモーのなかでも「コパー・エスキモー」と呼ばれる人々の間に何世代にも渡って語り継がれてきた民話である。時間が許すならば、民話や口承文学の構成や構造についても講じたい。 第1回 授業の進め方や評価方法の説明 教科書の説明、単元 The Magic Drum 第2回 The Magic Drum 第3回 The Orphan and the Bears 第4回 Kautaluk 第5回 確認テスト(1) 試験の簡単な解説、その後でリスニングの訓練 第6回 Lost at Sea 第7回 Tarigvak 第8回 The Hunter and the Children 第9回 Kidnapped by the Wolves 第10回 確認テスト(2) 試験の簡単な解説、その後でリスニングの訓練 第11回 The Legend of the Coppermine River 第12回 The Ghost Hunter 第13回 The Huntress 第14回 The Eagle and the Hunter 第15回 定期試験(確認テスト[3]) 試験の簡単な解説 授業では、上記「授業方法」に示したように、ランダムに指名して答えてもらうので、指定された範囲内の語句や表現の意味を前もって調べ、内容を発表できるように予習しておくこと。			
キーワード	読解力の養成 語句と言い回しの習得		
教科書・教材・参考書	読解 Maurice Metayer, 2002. <i>Tales from the Igloo</i> . Tokyo: Kaibunsha. ~ 各自購入のこと 聴解 Tatsuro Yamazaki. 2002. Japan Update. Tokyo: Kinseido. ~ 購入する必要なし		
成績評価の方法・基準等	・授業時の発表 50% 確認テスト(1)~(3)の成績 50% ・学生便覧にあるように授業総回数の3分の1以上欠席した者は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)	履修便覧や全学教育の規定にあるとおり、原則として全回数出席しなければ単位は成立しない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	上記「授業のねらい」に提示したとおり。		
備考(準備学習等)	特になし。		